

# ツバメ見守り感謝状

## 西平石油店・肝付給油所様に贈呈！

公益財団法人・日本野鳥の会より鹿児島県肝付町高山の西平石油店・肝付給油所様へ「ツバメ見守り感謝状」贈呈が決まり、2022年6月26日に同給油所にてかごしま県支部より「感謝状」の伝達式が行われました。

当日は新聞社やテレビ局2社が取材に訪れ、後日紙面・報道されました。



6月26日日曜日、梅雨にもかかわらず晴天でした。(27日梅雨明け)東九州自動車道を鹿屋市笠之原ICへと走り、手塚副支部長、本田事務局長、原編集長(奥様もご一緒)とともに地元の前田副支部長の案内で西平石油店さんの肝付給油所へ向かいました。

給油所の周囲は見晴らしの良い広い水田で、天敵が近寄りにくかつ営巣に必要な材料が手に入りやすい場所のようでした。写真で何回も見てもはいたのですが、現場はガソリンスタンドのピット(車の点検・修理場)全体、天井から床まで全てツバメのために開放されています。正直、ここまでとは思っていませんでしたから、改めて驚き感動しました。



記念品として、かごしま県支部よりの「日本野鳥の会・掛け時計四季の野鳥」も感謝状とともに贈呈いたしました。

事務所で贈呈式を行わせていただき、西平社長さんのツバメ愛あふれる「一羽一羽に名前を付けたいぐらい可愛い」とのお話は、私たちにとっても嬉しく優しい気持ちになれるものでした。「今年度は全国11か所で感謝状の贈呈がありますけれど、ここまでの場所はないでしょう。日本一でしょう」、記者さんの取材に、思わずそのようにコメントさせていただきました。

さて、改めて給油所の周囲を見回すと、周りの電線にたくさんのツバメが待機し、お客様の車やバイクの上を低空飛行で出入りしています。

お客様も従業員の皆さんも迷惑がることなく、ピット内の蛍光灯は全て巣ができていて、かわいい雛たちが一生懸命首を伸ばして鳴き交わし親鳥たちから餌をもらっています。夢のような光景を目にしていると思いました。

贈呈式の後、前田副支部長の案内で大崎町横瀬海岸に移動し、昨年度鹿児島県(自然保護課)の補助を受けて実施したアジサシ類の営巣保護現場を視察しました。ベニアジサシやクロハラアジサシなど多数が飛び回り、ここも夢のような現場でした。

一日に二つの現場で、強い気持ちを持ち優しく見守る人々の姿を見て感動の一日となりました。

高速道路を帰る時、しばらくツバメの群れが車の横を飛びました。まるで、また遊びに来てね…と言っているみたいでした。

文責：かごしま県支部長  
柳田一郎